大二中

1月22日

３学期が始まって２週間が経ちました。2年生のスキー移動教室も大きなケガもなく無事に終わりました。（スキー移動教室の様子は校長先生が学校の HP にアップしてくださっていますので、ぜひご覧ください）

今頃は、一年の中で最も寒い時期と言われています。大二中ではしばらく流行がなかったインフルエンザと新型コロナに感染する人が出始めています。特にコロナについては、新たな変異株が発見され、流行が始まっているという報道があります。インフルエンザもコロナも「一度かかったから大丈夫」と油断せず健康管理に注意してください。インフルエンザもコロナも感染力が強いため、早退や学級閉鎖に伴う授業短縮の可能性があります。**緊急連絡先**や**家の鍵の管理**等について、お家の方と必ず確認しておくようにしてください。

インフルエンザや新型コロナについて、よくある質問	
インフルエンザやコロナ、普通の風邪って症状で判断できる？	インフルエンザは 38℃以上の高熱が出ることが多く、急激に熱が上がるので、その前は関節痛を伴う倦怠感や寒気、ゾクゾクするような不快感があります。予防接種を受けた人は、38℃まで熱が上がらない場合があります。コロナも発熱・倦怠感・咳・頭痛等インフルエンザとよく似た症状があり、症状だけでは判断はつきません。コロナは無症状の場合もあり、１日で熱が下がる人もいるようです。（いずれも他の人にはうつります）
発熱した場合、病院受診のタイミングは？	ほとんどの病院でインフルエンザとコロナの両方が検査できるキットが使用されています。抗インフルエンザ薬は発症後 48 時間以内に服用する必要があるため、発熱後 12 時間くらい経ったタイミングで受診することが推奨されています。 発熱で受診する場合は必ず事前に病院に電話を入れて相談してください。（発熱外来等を設けている病院や受診の時間指定等をされる場合があります）
検査が陰性なら大丈夫？	インフルエンザやコロナの検査は陽性でも陰性と出る「偽陰性」が 20～30%あると言われています。検査で陰性であっても**体調が悪い時は登校を控える・マスクをする等、感染していると診断された時と同じくらい人にうつさないよう心がけてください。**
検査が陰性だった場合は出席停止にならない？	検査が「陰性」であっても「インフルエンザまたは新型コロナの疑い」と言われた場合や「念のため抗インフルエンザ薬を処方された」等、感染している可能性がある場合は、出席停止扱いになります。その場合は出席停止の期間を守り、他者への感染の恐れがなくなるまで、または主治医の許可が出るまでは登校しないでください。

インフルエンザの出席停止期間**「発症した後５日を経過し、かつ、解熱した後２日を経過するまで」**

新型コロナの出席停止期間**「発症した後５日を経過し、かつ、症状が軽快した後２日を経過するまで」**

※発症日を０日として翌日から「１日目」「２日目」…と数えます。たとえば火曜日に発症した場合、登校できるのは早くて翌週の月曜日からです。熱が下がってもウイルスは残り、人にうつす可能性があるため、インフルエンザや新型コロナにかかってしまったら、出席停止期間はしっかり守ってください。

１月１日能登半島で大きな震災が起こりました。被害者の方の多くが「まさか自分の身にこんなことが起こるとは思わなかった」と言っています。今までも大きな災害が何度もありましたが、ほとんどの人は自分の身に起こるなんて思わずどこか他人事で、当事者になって「まさか…」と思うものなのだと改めて感じました。